

一般社団法人日本調理科学会 平成 29 年度第 2 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 8 月 30 日（水）15:00～16:30

場 所：お茶の水女子大学 本館 209 室（東京都文京区大塚 2-1-1）

出席者：香西みどり会長、石井克枝筆頭副会長、今井悦子副会長、真部真里子副会長、曾田久仁子、青柳恵子、綾部園子、新井映子、和泉秀彦、魚住恵、大喜多祥子、岡本洋子、笠倉知子、坂本裕子、次田一代、西堀すき江、沼田貴美子、福田ひとみ、藤井恵子、松本美鈴、峯木真知子、吉濱義雄、（以上理事 22 名）、森高初恵（以上監事 1 名）

欠席者：岸田恵津、松村昌彦、三成由美（以上理事 3 名）

本日の理事会は定款第 33 条の規程（理事 25 名中 22 名）を満たし成立。

配布資料

資料 1 一般社団法人日本調理科学会 平成 29 年度第 1 回理事会議事録（案）

資料 2 論文審査状況（編集委員会）

資料 3 （一社）日本調理科学会 平成 29 年度第 2 回理事会報告資料（情報管理委員会）

資料 4 「家庭料理」20170825 全国配信資料、先行 5 県配信資料（記念出版委員会）

資料 5 寄付金について、創立 50 周年記念事業募金使途（案）（募金委員会）
平成 29 年度一般社団法人日本調理科学会創立 50 周年記念式典等次第

回収資料 平成 29 年 6～7 月入会申込者

1. 議長・議事録作成人・署名人選出

理事会に先立ち香西会長から、本学会大谷貴美子幹事が去る 7 月 11 日に逝去されたことが告げられ全員で黙祷をささげた。

前例により議長は香西会長、議事録作成人は次田庶務担当理事、議事録署名人は香西会長、石井筆頭副会長、森高監事とする。

2. 前回議事録確認（資料 1）

平成 29 年度第 1 回理事会議事録（案）（資料 1）を確認し、承認された。

3. 議事

【報告事項】

(1) 業務執行理事からの業務執行状況に関する報告

香西会長、石井筆頭副会長、真部副会長、今井副会長から職務執行状況について、創立 50 周年記念事業に関してこれまで進めてきた内容の報告があった。

(2) 常置委員会からの報告

1) 編集委員会（資料 2）

真部委員長より、資料 2 に基づいて以下の報告があった。

- ・投稿数が減少している。
- ・50 周年記念増刊号発刊に関する協力のお礼があった。
- ・50 周年記念増刊号に間違いがあった（伊與田浩志氏の名前の表記）が、学会誌の次号に訂正を記載する。Web 化する際は修正して掲載する。

2) 情報管理委員会（資料 3）

石井筆頭副会長より、資料 3 に基づいて以下の報告があった。

- ・平成 29 年度大会の発表要旨は 8 月 31 日に公開する。発表要旨はよほどのことがない限り本人が記載したものを掲載する。
- ・ホームページの管理について、大会の記事については学会ホームページとリンクし、アトラスの confit で提供されるものを使い、大会実行委員が管理する。
- ・転載許可については、思ってもいない形で申請してくる場合があり、今後は著者にも連絡し、許可していいかどうか検討することとする。

(3) 研究委員会からの報告

1) 災害時メニュー開発に関する研究委員会

石井筆頭副会長より、平成 29 年度大会 1 日目に NP0 キャンパーによる災害時食事の提供があると報告があった。

2) 次世代に伝え継ぐ 日本の家庭料理研究委員会

平成 29 年度大会では「おやつ」をテーマとしてポスター発表をする。参加は 45 都道府県であると報告があった。

(4) 創立 50 周年記念事業についての報告

1) 記念出版委員会（資料 4）

香西会長より、資料 4 に基づいて以下の報告があった。

- ・本大会参加者に渡す資料の中に、別冊うかたま「伝え継ぐ日本の家庭料理」16 巻の先行予約受付票を同封する。
- ・調理科学会では 1000 セットの予約を目標としている。
- ・申し込み方法は申込用紙に記入し、学会に申し込むようにする。

2) 記念増刊号編集委員会

真部副会長より各編集委員の方たちへのお礼と執筆者へのお礼のことばがあった。

3) 記念行事委員会

今井副会長より、記念行事に参加の呼びかけがあった。また、祝賀会では最後に全員で「四季の歌」をピアノ伴奏付きで斉唱する予定であることが披露された。

4) 募金委員会

香西会長より、資料 5 に基づいて以下の報告があった。

- ・正会員のべ 287 名（中には 2 度送金した会員有り）、他学生会員、企業などから送金があり、目標の募金額 1000 万円を達成した。また、事務局にまだ寄付金について問い合わせがあり、今年度中は受け付けるとのことであった。
- ・募金の使途は、6 月の第 1 回理事会で出された創立 50 周年記念事業の募金使途(案)に基づきほぼ予算通り執行されているとのことであった。
- ・記念出版に関し、交通費が多くかかった県には追加配布する。
- ・50 周年の歩みポスター展示は、綾部先生を中心に本大会にて作成展示する。
- ・寄付者記念品は、品の決定には至っていないが、予算通り 1000 円×300 人とする。
- ・大会参加者記念品は、学会誌をモチーフした赤と緑の透明ファイルを 200 円×1000 人分用意した。

(5) その他

1) 平成 29 年度事業報告会・学会賞授与式の件

今井副会長より、平成 29 年度事業報告、学会賞授与式について、平成 29 年度一般社団法人日本調理科学会次第に基づき説明があった。

2) 平成 31 年度大会の件

香西会長より、平成 31 年度大会は九州支部が担当で中村学園大学において行うとの報告があった。

3) 支部事業計画及び予算、事業報告及び決算の報告様式の件

今井副会長より、支部からの報告書について事業計画及び報告はこれまで通りでよいが、予算及び決算について書式の統一を考えており、1月の理事会で審議したいと報告があった。

【審議事項】

(1) 新入会員の件（回収資料）

香西会長より回収資料に基づき、新入会員（正会員 11 名、学生会員 6 名、団体会員 2 団体）の説明があり、承認された。

(2) 大谷貴美子監事逝去に伴う対応の件

大谷先生逝去に伴い監事が 1 名となった。新たに監事を選出することとなると、代議員総会が必要となる。一方定款には、監事 2 名以内となっている。そこで香西会長より、欠員のままでいいかどうかとの提案があり、森高先生 1 名で監事を担当することが承認された。

(3) 「若手研究者発表奨励賞」の審査、決定、公表の件

今井副会長より、今大会から始まった「若手研究者発表奨励賞」の審査方法について、具体的には以下の手順により、会員投票結果と理事 2、3 名の意見を照らし合わせて決定したいとの提案があった。

- ・大会要旨集に投票用紙が添付してあり、会員は会場にある投票箱に投票する。
 - ・大会 2 日目の夕方に今井副会長と真部副会長及び編集委員若干名が開票し、審査担当理事とともに受賞者を決定する。
 - ・受賞者決定後は理事会に報告、本人に賞状送付、学会誌に公表し、来年の事業報告会に報告する。
- 本件について審議の結果、提案通り承認された。また、審査担当理事を募った結果、峯木理事と福田理事の手が上がり、審査担当として承認された。

【その他】

(1) 次回理事会の件

香西会長より、次回理事会は、平成 30 年 1 月 27 日(土)14:00～16:00 お茶の水女子大で開催予定であることが報告された。

(2) その他

早川事務局員より、TV 担当者等から学術的な問合せがくると「事務局では回答できない」と断っているが、直近の 1 件は試みとして役員にメール配信してみた。返信等反応はなかったが、今後どのような対応がよいかと質問があった。石井副会長より、家政学会では分科会に依頼していると情報提供があった。香西会長が「調理科学的に情報発信できるものは対応したいが、TV 担当者からの問合せは急なことが多く、説明しようすると途中で切られるなど、経験上難しいこともあるので事務局の判断に委ねたい」と話されたことを受け、早川事務局員は臨機応変に対応していくと述べた。

以上

議事録署名人	会長	香西 みどり	印
	筆頭副会長	石井 克枝	印
	監事	森高 初恵	印